



写真提供：朝来市役所

朝来（兵庫県）に環状交差点

コンパクト化、除雪対応も

オリコンサル技術支援

兵庫県の積雪寒冷地では初のラウンドアバウト（環状交差点）が朝来市和田山町白井の県道金浦和田山線・市道白井山東線の交差点部に完成、8日に開通した。ラウンドアバウトに関する多くの実績や知見を持つオリエンタルコンサルタンツが計画・設計を技術支援。X型の特殊な交差点形状にあって、コンパクト化や除雪対策に創意工夫を凝らし、安全性と円滑性を確保しながら災害時にも自律的な運用ができるラウンドアバウトを誕生させた。

この交差点は、県道から市道へ主方向交通が直角方向に折れ曲がった上に、改良規模が大きくなりやすいX型の特殊な形状のため、接続道路の取付角度や流入入部の形状を工夫し、ラウンドアバウトのコンパクト化を実現。除雪対策では、従来の方法で除雪できようラウンドアバウトの機能を維持しつつ段差を設けない構造の工夫を行い、合わせて隣接地への堆雪スペースも設置した。

同社はラウンドアバウトの導入支援を全国的に展開しており、これまでに26カ所の計画・設計に関与している。今

回の実績から得られた新たな知見も踏まえながら、今後さらに普及に努め、安全・安心に寄与する交通事業に取り組みとしている。